

栄えあり上峰

1学期反省号

学ぶ心
磨く心
鍛える心

上峰中学校生徒指導部だより（文責 矢動丸）R7.7.18

エネルギーの出し方

夏休みが目の前に差し迫ってきました。先週くらいからソワソワと、何をして楽しもうかと心待ちにしている様子です。夏休みは、部活動で新チームでの本格的な練習が始まります。私も、リフティングやアジリティ、声出しなど基礎・基本的なことにしっかり時間をかけます。以前うけもった選手にリフティングが苦手な選手がいました。彼に、「きつかったら、休憩しながらでいいよ」「目標回数に達しなくても、一回でも多くできるようになったら成長やん！」と言っても、「大丈夫です」と言いながら、何度も何度もリフティングの課題に挑戦し、終了時間ギリギリの最後の一回でクリアし、みんなからの大きな拍手に包まれたという一幕がありました。最初は消極的で、動きが遅かったその選手も、最後に成功した時に「集合！」と声をかけると、ダッシュで一番最初に走ってきて、目を輝かせて、私の一番近くに来ていました。彼がやりきることでつかみとった充実感が表情と行動に表れていました。彼はチームに「一生懸命の大切さ」を伝えてくれました。

一生懸命の大切さの一つ目のポイントは、自分の強みがわかることです。自分の強みを生かした自分の本当のやるべきことに集中できるようになります。中途半端に取り組んでいては、強みも弱みもわかりません。自分は人より「何ができて、何ができないのか」がはっきりしないのです。だから、一生懸命取り組める人は、勉強でもスポーツでも成功しやすくなります。

2つ目のポイントは、集中していく過程でエネルギーの出し方をわかるようになるということです。必死にならないと、自分の本当のエネルギー量もわからないし、エネルギーの出し方もわからないままなのです。エネルギーの出し方がつかめると、その他の場面でもエネルギーを出すことができるようになります。オリンピックなどのアスリートがまさしくそのものです。

しかし、ほとんどの人が、一生懸命のレベルまでいかず、表面的なところをさらっと努力し、自分のエネルギーの限界までを引き出す方法が分からず、最高の自分になれないているのです。

ぜひ、自分が一生懸命になれる機会を作りましょう。そんな中で、自分がどこまでエネルギーを出せるのか。探してみるのも中学生の大事な勉強だと思います。

1学期と夏休み

1学期をふり返ってみると、多くの生徒が元気に健やかな学校生活を送って来ていました。1年生もだんだんと学校に慣れ、2、3年生ともコミュニケーションをとっている様子も見られます。ほほえましい限りです。

しかし、問題もたくさんありました。友人間でのトラブルで、お互いに嫌な思いをした生徒もいました。

校外では、ノーヘルを指導することもありました。休みの日でも、自転車に乗るときにはヘルメットをかぶる努力義務が、国からも発信されています。運転中のスマホの使用は、法律で禁じられています。

また、公共物にいたずらをされるという事案が起きます。傷つけられていたり、紛失していたりと、みなさんの安心安全な学校生活を脅かす、由々しき事態だと捉えています。

また、スマホ等による中高生のいたずら動画での事案は全国的に見ても後を絶ちません。インターネット上に一度アップされた動画や画像は、永遠に消えることはありません。

SNS の使用により生徒が犯罪に巻き込まれる事件（性犯罪含む）も年々増加しています。その被害者の多くもまた、中高生なのです。

だから、学校では、特別な事情がある場合を除き、スマホを持ってくることを許可していません。夏休みのしおりにも書いてありますが、今一度家族の方と確認しておきましょう。

素敵なこと

夏休みになると2年生の職場体験が行われます。上峰でもそうですが、私の住んでいる近所のお店などでも元気に体験している姿を見かけます。では、職場体験は一体何を学びに行くのでしょうか？

社会人としてのふるまい方？マナー？仕事のスキル？みなさんは何を学ぶために体験に行くのか、しっかり考えられていますか？

ちなみに、私が今までの仕事でもらった報酬の中で一番うれしかったのは、高校卒業後に、人生で初めてアルバイトをした時にもらった数万円でした。

それまでサッカーしかしたことがなかった（自分のことだけだった私）私は、大学試験が終わり、何となく働いた次第でした。

ところが、周りの大人の方から、ペーペーの私を大人として扱ってもらったことが、お金をもらったことより嬉しかったことを思い出します。

話は変わりますが、パナソニックの創業者、経営の神様と言われた松下幸之助さんは、こう言われています。

「9歳で丁稚（でっち）として奉公（ほうこう）し、初めて5銭（1円の半分。当時の饅頭5個分）もらったときが、一番うれしかった」と。総資産5000億の大富豪の松下さんが言われるのでした。

少年、松下幸之助さんにとって、5銭というものが、「初めて、**社会の役に立ったという実感**」だったのかもしれない。

その「**誰かの役に立つということ**」が、パナソニックが大企業になっても、松下さんの「原点」になっていると言われるのです。

校長先生も、「人を喜ばせるのが一番うれしい」と全校集会でもお話をいただきました。（学校だよりも掲載してあります。）

みなさん、自分の生活に置き換えてみてください。中学校で、家庭で、何かをやったことで**喜ばれたことを。感謝されたことを。**

誰かの役に立てるということは、あなたが考えている以上に、とても「**素敵なこと**」なのです。

「仕事」とは、誰かに「仕」える（つかえる）事と書きます。

誰かの役に立てる喜びというのは、人間の大事な本能の一つです。

みなさんも、職場体験の時には、いや、職場体験と言わず、夏休みに入りますので家庭の中でも、ぜひ、自分で気づいて体を動かし、誰かの役に立つ喜びを「体感」してほしいものです。

また、仕事をしていく上で、もう一つ大事なことがあります。

仮装大賞の総合司会の欽ちゃんは、「演技は努力しなくていい。性格を努力しろ！」と言っています。

「僕は長いことテレビをやっている『あいつはうまいから使おう』なんて話聞いたことがない。一番使われるのは、『あいつ、いいやつだから使おう』って言葉が多いんですもん。だとすると、演技より、性格磨いた方が良いよ！」と言われるのです。

「性格が究極の才能」かもしれません。磨く場所はどこにでもあります。

中総体でも、最後の最後で「この選手で負けてしまったら仕方がない。」と思わせる選手がいます。監督やコーチは、みなさんの“うまさ”だけで見てはいないのです。なんだか、そのことと重なって思えるのでした。

保護者様

いよいよ夏休みになります。ご家庭で過ごす時間も増えることと思いますので、ご指導よろしく願いいたします。

夏休みの生活について（保護者用）も、配布しておりますので、ご確認いただければと思います。また、生徒用については、各学年の「夏休みのしおり」につけていただいているところです。課題やテスト範囲等も配布していますので、ご確認をお願いします。

特に、色々な問題が起きやすい時期です。外泊などはさせないようにお願いします。（飲酒や喫煙、染髪やピアス、不純異性交遊等のリスクが上がります）前述していますが、現代では、インターネットの時代です。その特性上、ネットの中では良いことも悪いことも、一度上がってしまったら永遠に消えることがありません。しかも、そのほとんどが、保護者がしらないところで起こります。気づいたときには、すでに手遅れだったとならないよう、お子さまの言動にはご注意ください。また、何かありましたら学校へご連絡ください。